

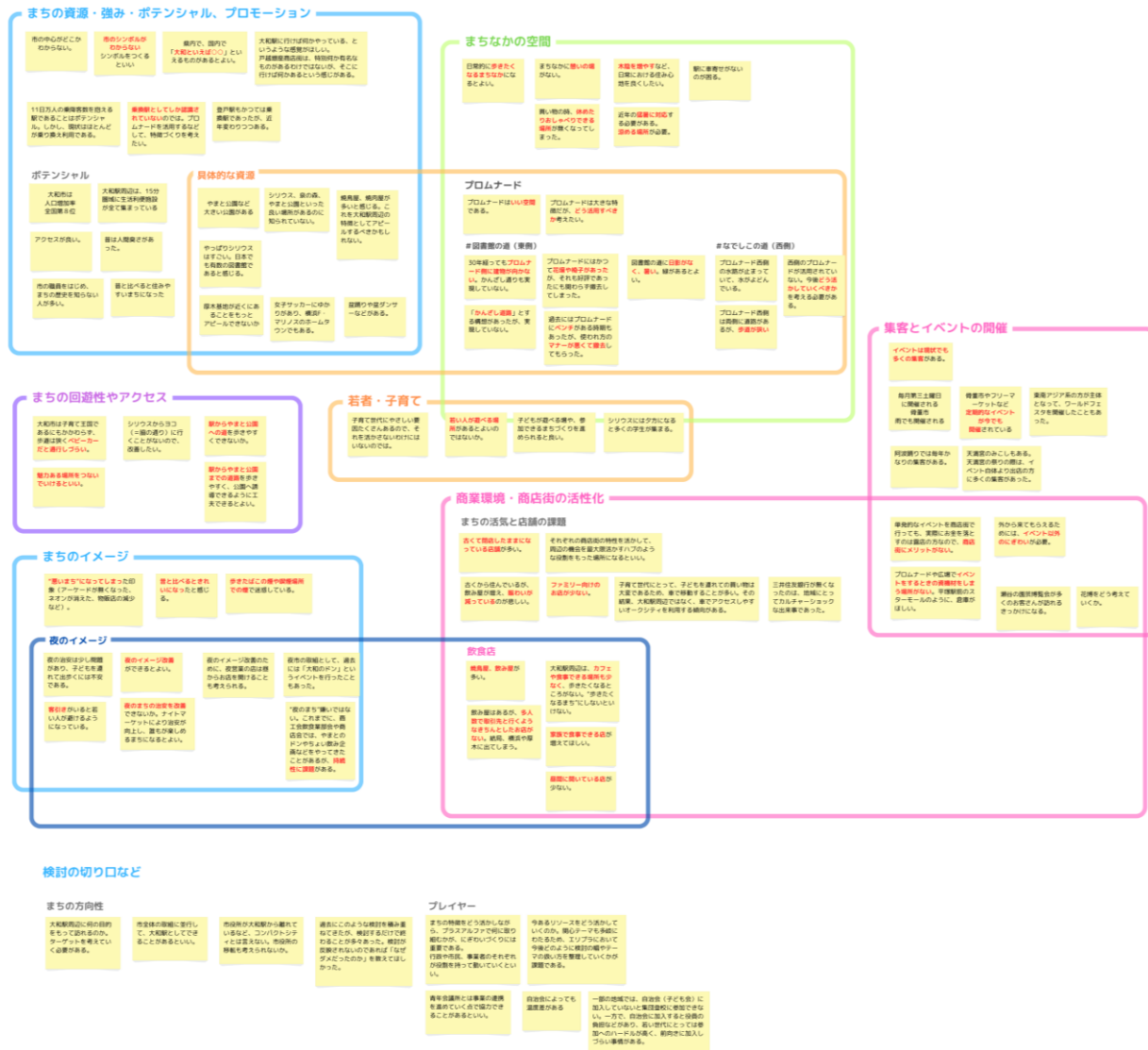
第1回大和駅周辺エリアプラットフォーム準備会 議事録

日 時	2025 年 6 月 26 日（木） 15:00～17:00
場 所	大和市文化創造拠点シリウス 6 階 610 大会議室
出 席 者	34 名(事務局を除く)
テ ー マ	・ エリアプラットフォームについて ・ エリアプラットフォームでの検討テーマについて（意見交換）
結 論	・ 事務局より、エリアプラットフォームの体制案や設立までのプロセスの説明を行い、理解を得られた。 ・ 事務局より、大和駅周辺における近年の取組み及び、大和駅周辺エリアプラットフォームで考えられる検討テーマの例（他都市事例）を紹介した。後半は、3つのグループにわかれ、自己紹介及び、①最近の大和駅周辺で気になること、②エリプラで話し合いたいテーマの2点に関して意見交換を行った。

■当日の様子



■意見交換のまとめ



■意見交換の記録

意見交換のテーマ
①最近の大和駅周辺で気になること
②エリプラで話し合いたいテーマ

< Aグループ >

区分	意見
プロムナード	・ 図書館の道に日影がなく、暑い。緑があるとよい。 ・ プロムナードは大きな特徴だが、どう活用すべきか考えたい。 ・ シリウスからヨコ（＝脇の通り）に行くことがないので、改善したい。 ・ 「かんざし道路」とする構想があったが、実現していない。 ・ プロムナードや広場でイベントをするときの資機材をしまう場所がない。平塚駅前のスターモールのように、倉庫がほしい。
飲食店の充実	・ 焼鳥屋、飲み屋が多い。 ・ 家族で食事できる店が増えてほしい。 ・ 飲み屋はあるが、多人数で取引先と行くようなきちんとしたお店がない。結局、横浜や厚木に出てしまう。
特徴づくり	・ 焼鳥屋、焼肉屋が多いと感じる。これを大和駅周辺の特徴としてアピールするべきかもしれない。 ・ 県内で、国内で、「大和といえば〇〇」といえるものがあるとよい。 ・ 若い人が遊べる場所があるとよいのではないかな。 ・ 厚木基地が近くにあることをもっとアピールできないかな。 ・ 乗換駅としてしか認識されていないのでは。プロムナードを活用するなどして、特徴づくりを考えたい。 ・ シリウス、泉の森、やまと公園といった良い場所があるのに、知られていない。 ・ 市の職員をはじめ、まちの歴史を知らない人が多い。 ・ 市役所が大和駅から離れているなど、コンパクトシティとは言えない。市役所の移転も考えられないかな。
日常のにぎわい	・ 古くから住んでいるが、飲み屋が増え、賑わいが減っているのが悲しい。 ・ 外から来てもらえるためには、イベント以外のにぎわいが必要。 ・ 古くて閉店したままになっている店舗が多い。 ・ 日常的に歩きたくなるまちなかになるとよい。 ・ 駅とシリウスをつなぐプロムナードのように、駅からやまと公園への道を歩きやすくできないかな。
ナイトマーケット	・ 夜のまちの治安を改善できないかな。ナイトマーケットにより治安が向上し、誰もが楽しめるまちになるとよい。 ・ 客引きがいると若い人が避けるようになっている。
日常の住み心地	・ プロムナード西側は両側に道路があるが、歩道が狭い。 ・ 木陰を増やすなど、日常における住み心地を良くしたい。 ・ 駅に車寄せがないのが困る。

区分	意見
	・ プロムナード西側の水路が止まっていて、水がよどんでいる。 ・ 歩きたばこの煙や喫煙場所での煙で迷惑している。

< Bグループ >

区分	意見
まちの印象	・ “悪いまち”になってしまった印象（アーケードが無くなった、ネオンが消えた、物販店の減少など）。 ・ 夜のイメージ改善ができるとよい。
大和駅	・ 11万人/日の乗降客数を抱える駅であることはポテンシャル。しかし、現状はほとんどが乗り換え利用である。 ➤ 登戸駅もかつては乗換駅であったが、近年変わりつつある。
プロムナード	・ 過去にはプロムナードにベンチがある時期もあったが、使われ方のマナーが悪くて撤去してもらった。 ・ 買い物の時、休めたり、おしゃべりできる場所が無くなってしまった。 ・ 30年経ってもプロムナード側に建物が向かない。かんざし通りも実現していない。 ・ 西側のプロムナードが活用されていない。今後どう活かしていくべきかを考える必要がある。
シリウス	・ やっぱりシリウスはすごい。日本でも有数の図書館であると感じる。 ・ 夕方になると多くの学生が集まる。
商業環境	・ 大和駅周辺は、15分圏域に生活利便施設が全て集まっているため、生活に困らない。 ・ 三井住友銀行が無くなったのは、地域にとってカルチャーショックな出来事であった。 ・ 昼間に開いている店が少ない。 ・ 夜のイメージ改善のために、夜営業の店を昼から開けることも考えられる。 ・ “夜のまち”嫌いではない。これまでに、商工会飲食業部会や商店会では、大和のドンやちょい飲み企画などをやってきたことがあるが、持続性に課題がある。
回遊性 歩きやすさ	・ 大和駅周辺は、カフェや食事できる場所も少なく、歩きたくなる場所がない。 “歩きたくなるまち”にしないといけない。 ・ 駅からやまと公園までの道路を歩きやすく、公園へ誘導できるように工夫できるとよい。 ・ 大和市は子育て王国であるにもかかわらず、歩道は狭くベビーカーだと通行しづらい。 ・ 子育て世代にとって、子どもを連れての買い物は大変であるため、車で移動することが多い。その結果、大和駅周辺ではなく、車でアクセスしやすいオークシティを利用する傾向がある。
住みやすさ	・ 大和市は人口増加率全国第8位である。ポテンシャルしか感じない。 ・ 子育て世代にやさしい要因たくさんあるので、それを活かさないわけにはいかな

区分	意見
	いのでは。 ・ 子どもが遊べる場や、参加できるまちづくりを進められるとよい。 ・ 一部の地域では、自治会（子ども会）に加入していないと集団登校に参加できない。一方で、自治会に加入すると役員の負担などがあり、若い世代にとっては参加へのハードルが高く、前向きに加入しづらい事情がある。 ・ 自治会によっても温度差がある。
その他	・ 毎月第三土曜日に開催される骨董市。雨でも開催される。 ・ 花博をどう考えていくか。 ・ 大和駅周辺に何の目的をもって訪れるのか。ターゲットを考えていく必要がある。 ・ 今あるリソースをどう活かしていくのか。関心テーマも多岐にわたるため、エリプラにおいて今後どのように検討の幅やテーマの扱い方を整理していくかが課題である。

<Cグループ>

区分	意見
ポテンシャル 観光資源	・ 瀬谷の園芸博覧会が多くのお客さんが訪れるきっかけになる。 ・ 青年会議所とは事業の連携を進めていく点で協力できることがあるとよい。 ・ 女子サッカーにゆかりがあり、横浜F・マリノスのホームタウンでもある。 ・ お金を稼げる場所があるとよい。 ・ まちの特徴をどう活かしながら、プラスアルファで何に取り組むかが、にぎわいづくりには重要である。行政や市民、事業者のそれぞれが役割を持って動いていくとよい。
イベント	・ 骨董市や、フリーマーケットなどの定期的なイベントが今でも開催されている。 ・ 阿波踊りでは毎年かなりの集客がある。 ・ 盆踊りや盆ダンサーなどがある。 ・ 天満宮のみこしもある。天満宮の祭りの際は、イベント自体よりも、出店の方に多くの集客があった。 ・ イベントは現状でも多くの集客がある。
夜のまち	・ 夜の治安は少し問題があり、子どもを連れて出歩くには不安である。 ・ 夜市に類似の取組として、過去には「大和のドン」というイベントを行ったこともあった。 ・ 東南アジア系の方が主体となって、ワールドフェスタを開催したこともあった。
回遊性	・ 魅力ある場所をつないでいけるとよい。 ・ それぞれの商店街の特性を活かして、周辺の機会を最大限活かすハブのような役割をもった場所になるとよい。
商業空間	・ ファミリー向けのお店が少ない。 ・ 単発的なイベントを商店街で行っても、実際にお金を落とすのは露店の方なので、商店街にメリットがない。

区分	意見
過去の実組	・ プロムナードにはかつて花壇や椅子があったが、それも好評であったにも関わらず撤去してしまった。 ・ 過去にこのような検討を積み重ねてきたが、検討するだけで終わることが多々あった。検討が反映されないのであれば「なぜダメだったのか」を教えてほしかった。 ・ 昔は人間臭さがあった。
シンボル	・ 大和駅に行けば何かやっている、というような感覚がほしい。戸越銀座商店街は、特別何か有名なものがあるわけではないが、そこに行けば何かあるという感じがある。 ・ 市の中心がどこかわからない。 ・ 市のシンボルがわからない。シンボルをつくるとよい。
憩いの場	・ まちなかに憩いの場がない。 ・ 近年の猛暑に対応する必要がある。涼める場所が必要。 ・ やまと公園など大きい公園がある。
大和駅	・ アクセスがよい。 ・ 昔と比べると住みやすいまちになった。 ・ 昔と比べるときれいになったと感じる。 ・ 市全体の取組に並行して、大和駅としてできることがあるとよい。 ・ プロムナードはいい空間である。

※本議事録は、事務局が記録用に作成したもので、各出席者の確認を得たものではありません。